



河崎 賢三院長

外傷後、術後にすぐ使えるのは大きい。 現在2台がフル稼働中 横浜たまプラーザ 運動器スポーツクリニック（横浜市青葉区）

自院のオープンは半年前。その段階から「インディバ®・アクティブ」は導入していましたが、活用の幅が大きく、現在は2台体制。それでも常時どこかで使用中という状態とのこと。患者さんからの「使ってほしい」というリクエストも多く、今後も院の主軸として活躍していくのは間違いなさそうです。

——医師として手術も多く手がけてきたとうかがっています。

河崎 そうですね。外来診療は8,000例、手術は年間300件ほど行ってきました。主にスポーツ障害ですがプロ選手も含まれます。

——「インディバ®・アクティブ(以下「アクティブ」)」の選択にも、ご自身で行ってきた治療から得たお考えが反映されているのでしょうか。

河崎 これまでの整形外科の治療では、外傷や手術後に一定期間様子を見ることが多く、早期にケアしてあげることができませんでした。しかし「アクティブ」は、その必要がなくすぐに治療に使えます。使う時間は短くても、これは患者さんの回復を考えたらとても重要で、リハビリに早く入れるので早期の治癒、回復につながります。術後の患者さんの場合は、大きなポイントであるダウンタイム短縮を達成できます。

——「アクティブ」はどんな経緯で知ったのですか。

河崎 知り合いの先生が導入されていて、施術してもらったら刺激はないのに身体の動きが変わった実感があったのです。そして急性期でも使用できるところが気に入って「使いたいな」と思っていたところ、ある学会で出展されていたので、そこで詳しい話を聞いて導入しました。

治療の一環なので料金設定はしていない

——患者さんからの「アクティブ」への反応はいかがでしょう。

河崎 慢性的な肩こりに悩んでいた方が「温泉に入っているみたい」と喜んでくれたり、可動域が明らかに広がったという声など、反応はいいですよ。来院されて『「アクティブ」を使ってほしい」と言われることもあります。実際には、状態を見ながら使用すべき方に施術するわけですが、それでも一日に10～20人へ施術しています。ですから1台では足らなくなり、増台して2台体制にしましたが、それでもたいてい2台ともPTの誰かが使用中です。わたしどもでは、「アクティブ」での料金設定をしておらず、あくまでも治療の手段で組み込んでいるので、稼働率はより高いのかもしれませんが。

——リカバリー目的の高酸素ルームに設置しているのは、「回復」に「アクティブ」がより効果ありとお考えだからでしょうか。

河崎 そのあたりは具体的に実験を行っているわけではないのですが、血流をアップさせる高酸素状態なら、さらに効果的ではと思ひまして。個室なので特別感もありますし(笑)。

——今後の展開でお考えになっていることは。

河崎 今、スタッフの女性に美容分野での活用について勉強してもらっています。ただ新しいメニュー開発というよりは、より多くの方々に「アクティブ」を知ってもらい、その良さを分かってもらうため。美容関連なら女性が体感しやすいですから。



【施設プロフィール】

施設名: 横浜たまプラーザ 運動器スポーツクリニック
住所: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-14-9 MMPたまプラーザ1F
電話番号: 045-905-553
HPアドレス: <https://yokohama-tsc.com>
オープン年月: 2020年4月7日
代表者名: 河崎 賢三
店舗面積: 300㎡

「アクティブ」が置かれているのは高酸素ルーム(上)。持久力強化を求め低酸素ルームも完備